

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

2018年度

公表:平成31年1月5日

事業所名 ムーブすばる

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、改善目標など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			適切な人員を配置している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			ワンフロアで段差もなく障害になるものは置いていない。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			毎月の全体ミーティングと、日々スタッフ間での連携を取り、業務について話し合っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		今後、評価表を活用しニーズに合ったより良い療育を行っていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ムーブすばるのHPがないので同法人のすばるのHPで公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	今後、外部からの評価を検討中。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			定期的に社内研修の実施や社外研修に参加している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○		曜日でプログラムが固定されてしまっているが、ダンスでは3か月ごとに振付けを変えたり、軽スポーツの種類も毎週変えて工夫している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		"
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			打ち合わせに全員参加出来ない場合は、連絡ノートで情報の共有を行っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			"
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○	学校のHPや保護者様を通じて情報を集めて調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在、対象児童はいないが、受け入れを行う場合は対応していく予定。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	直接事業所とは連絡を取っていないが、保護者様から以前の様子など情報を教えて頂いている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	現在、対象児童はいないが、その場合は提供する予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	専門機関との連携は図っていませんが、研修会があれば参加したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	同法人での交流はあるが、外部との交流はないため、交流の場を増やしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	今後、参加に努める。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や電話などで詳しく状況を伝えるように努め、共通の理解をしている。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	スタッフの専門性を養い、今後は支援に努める。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際に丁寧な説明を心掛けている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	ダンス発表会や親睦会の開催はしているが、連携の支援は、今後務める。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速な対応を心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	現在HPがなく、会報という形ではないが、活動の様子など写真で見せていただいている。
	35	個人情報に十分注意している	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードやマカトンなど必要に合わせて使用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今後、地域連携を図るよう心掛ける。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			○	スタッフは周知しているが、保護者様には伝えられていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている			○	不定期に行っているので、毎月行えるように心がける。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			社外での虐待防止研修に参加し、社内で全員に周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			○	現在、対象児童は居ませんが、今後の利用に備えて検討する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			○	”
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			